

# 金山町地球温暖化対策実行計画の概要と達成状況

2019（令和2）年3月末

金山町では、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づいて、平成31年3月に「金山町地球温暖化対策実行（事務事業編）」を策定し、2013（平成25年）年度から2030（令和12年）年度までを計画期間とし、町の事務及び事業における地球温暖化対策を推進しています。

2019（令和元）年度における金山町の事務・事業に伴う温室効果ガス排出量は、2013年度比で「12.40%」減少しましたが、目標とする「38.70%」削減は達成できませんでした。

今後は施設更新時に温室効果ガス排出量の少ない設備を導入することや、クールビズ、ウォームビズ、エコドライブの推進など実効性の高い取り組みを行い地球温暖化対策を推進していきます。

以下に金山町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の概要とこれまでの状況を公表します。

## 【金山町地球温暖化対策実行計画の概要】

- 計画期間：2013（平成31）年度から2030（令和12）年度
- 対象範囲：金山町が行う全ての事務・事業とし、出先機関を含めた全ての組織及び施設を対象とする。ただし、外部委託等を実施している事務・事業は対象外とする。
- 削減目標

温室効果ガスの種類	基準年度排出量 2013（平成25）年度	削減 目標	目標年度排出量 2030（令和12）年度
二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )	2,361.1 t-CO <sub>2</sub>	38.70%	1,447.4 t-CO <sub>2</sub>

※計画策定時のエネルギー使用量を精査し目標年度排出量を再計算しています。

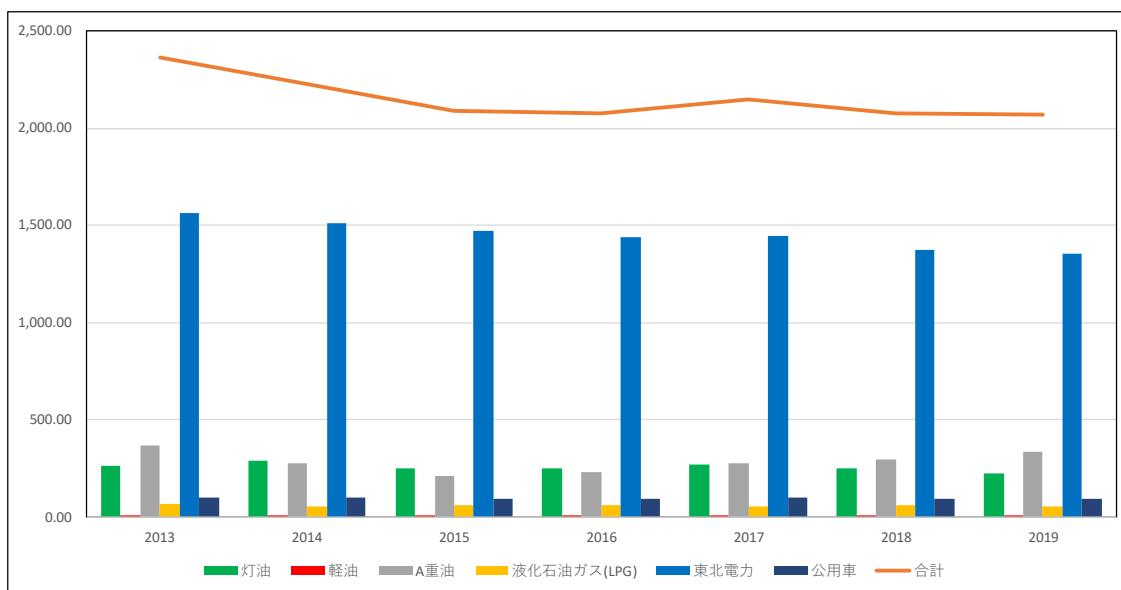
## 【計画の進捗状況】

温室効果ガスの種類	基準年度排出量 2013（平成25）年度	削減率	2019（令和1）年度
二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )	2,361.1 t-CO <sub>2</sub>	12.40%	2,068.2 t-CO <sub>2</sub>

※目標未達成の主な要因

- ・再生可能エネルギー（チップボイラー）の稼働率の低下
- ・高効率な設備への更新が未実施（更新設備や時期を検討中）
- ・公共施設（中央公民館等）の改築未実施

## 【温室効果ガス排出量の推移】



年度	灯油	軽油	A重油	液化石油ガス(LPG)	東北電力	公用車	合計	対2013年度 削減率
2013	262.76	0.71	369.06	65.88	1,562.12	100.62	2,361.14	—
2014	287.16	0.92	276.75	55.49	1,509.83	98.79	2,228.94	5.60%
2015	250.12	0.20	210.27	62.46	1,473.08	94.94	2,091.08	11.44%
2016	248.07	0.29	229.74	64.40	1,437.57	95.19	2,075.26	12.11%
2017	271.99	0.54	275.47	53.27	1,446.32	99.19	2,146.79	9.08%
2018	250.33	3.37	296.50	58.91	1,372.30	97.33	2,078.75	11.96%
2019	225.22	2.32	335.63	56.37	1,353.99	94.72	2,068.24	12.40%

**削減目標 38.70%**  
※目標年度：2030年度